



1

1.ノーマル形状のアウターリムによって引き出していく立体的な深みが、グラマラスなボディラインを引き立てていく。高輝度なパフアルマイトならスポークの映し込みと相まって、迫力ある高級感を際立たせられるのだ。2.絶妙なポリウレームのスポークサイドを備えた10交点のスリムスポークにより、気品あるメッシュを立体的に描くマイスターM1。マルチピースのアクセントとなるピアスポルトはゴールド、ブラック、チタンコートオプションカラーが用意されている。3.ナットホールへ迫る小径センターパートによって、フラットディスクに最大級の足長感を確保。また、中心部に備えた彫りの深さで、足元の深みをブーストさせていく。4.5.0ℓV10を搭載したE60M5にふさわしいアダルトスポーティーさを足もとに添えてきたのは、BMW専門店として名高いエムファクトリーのデモカーだ。チタンゴールドディスクと同系色となるゴールドピアスポルト、輝きの美しいパフアルマイトリムといった配色で、マイスターM1 3Pの優美さを深みとともに際立たせている。

PRICE LIST

16×5.0J~11.0J	5万9400~7万2600円
17×7.0J~13.0J	7万5900~8万9100円
18×8.0J~16.0J	9万2400~11万円
19×8.0J~16.0J	10万3400~12万1000円



2

3



4

レーシングホイールをルーツに持つマイスターといえ、真つ先にCRやS1の逞しき5本スポークを思い浮かべよう。だが、ここで注目してもらいたいのは、2×10のスリムスポークで端正なメッシュを展開するマイスターM1の3ピースだ。

一般的にメッシュは高級感を引き出すための魅せデザインと思われがちだが、実際は放熱性や応力分散、剛性に優れた正統派スポークデザインであり、レーシングホイールにも数多く採用されていた。そうした事実を知ったうえで確かな性能を備えた優美さという特性を考えれば、今回マッチング車両として取り上げるE60M5とマイスターM1の3ピースは同じスタンスを貫いている。

優雅な美しさを携えた 気品あふれる足元。

ストイックに速さを突き詰めるのではなく、
奥底に秘めた圧巻ポテンシャルを
リラックスして楽しむアダルトスポーティー。
そんなM5の足元が求めるのは
10交点メッシュで放つマイスターM1の優美さだ。

スクとリムの立体感と陰影が極まり、眺めていて圧倒されてしまう。また、ディスクがフラットでも単調に感じないのは、ナットホールぎりぎりまで追い込んで小径に仕上げたセンターパートを深く彫り込んで加える奥行き感の賜物。主張しすぎず、控えすぎない絶妙な造形と気品により、アダルトスポーティーなE60M5にふさわしい足元を飾ってきた。

なお、スポークのように直球勝負のスポーティーさを放たないメッシュは、ディスクやリムの配色加減で足元のイメージが大きく変わる。ワークが誇るカスタムオーダープランも駆使して、狙いのスタイリングにふさわしい履きこなしを突き詰めてもらいたい。



MEISTER

M1 3PIECE